TIGER
タイガー魔法瓶

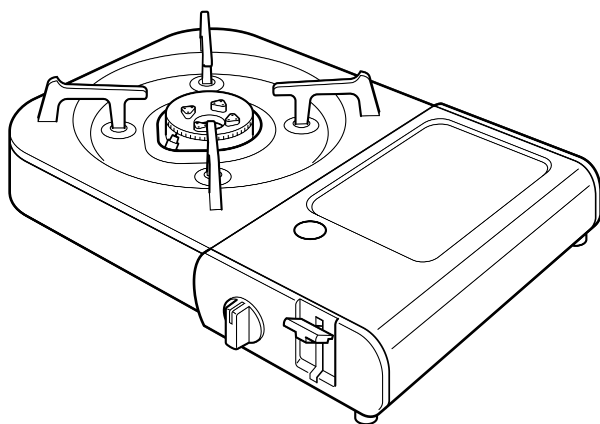
品番
CKQ-C 型

家庭用

カセットコンロ〈ツインパワフル®〉

取扱説明書〈保証書つき〉

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



点検、修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL　（　）

もくじ

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠破裂注意
⚠警告
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意
「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

この絵表示は行為を「禁止」する内容です。
（分解禁止）　（火気厳禁）

この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。
（強制・指示）

⚠破裂注意

次のことを必ず守ってください。容器（ボンベ）が過熱し爆発の原因になります。

炭の火起こしなど、炭をのせて使用しない。

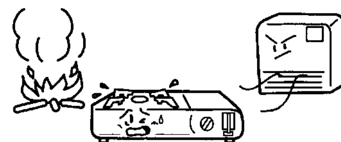
ジンギスカンなべ、タコ焼鉄板、魚焼器、石綿つき焼アミ、陶板、セラミック製焼肉器など、容器カバーをおおうような大きな鍋や鉄板などは使用しない。
鍋や鉄板などの熱が容器（ボンベ）に伝わり、過熱して故障や爆発の原因。
また、熱に弱いものの上（たたみ・じゅうたん・ビニールクロス・熱に弱いテーブルなど）で使用すると、こげたり、破損・火災の原因。



コンロを2台以上並べて使用しない。

夏の砂浜など、日光によって容器（ボンベ）が過熱するような場所で使用しない。また、容器（ボンベ）が過熱されるような行為をしない。

火のそばや、暖房器具の近くで使用しない。
火気から2m以上離して、使用すること。



⚠破裂注意

容器（ボンベ）は、ファンヒーターの前など熱気の当たる場所に放置しない。

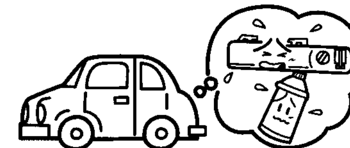


容器（ボンベ）を火中に投じない。また、温度の高いところに放置しない。

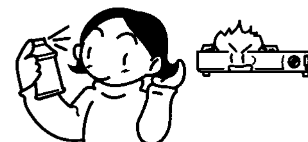


から焼きは絶対にしない。

容器（ボンベ）は火気や直射日光をさけて保管する。
容器（ボンベ）は容器キャップをはめ、火気や直射日光（室内の窓際や自動車の車内などの熱がこもりやすいところ）をさけて風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に保管すること。また、冷蔵庫などには絶対に入れない。

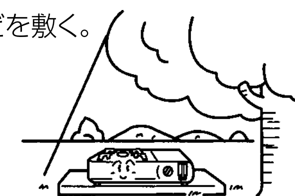


ヘアスプレーなど、引火のおそれのあるものを近くで使用しない。



着火していないのに器具せんつまみを「消」以外の位置にしない。
ガス漏れを起こし、危険。

屋外（アウトドア）での使用には次のことに注意する。
- 直射日光をさける。
- 地面の涼しいところで使用する。
- コンロの底が砂や小石などで埋まらないように、下に板などを敷く。

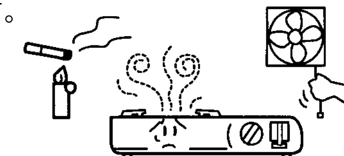


アルミホイルなどでごとくや容器カバーをおおって使用しない。

カセットコンロの使用中、近くに予備の容器（ボンベ）やヘアスプレーなどを放置しない。
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発の原因。

ガス漏れ※に気づいたときは、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や、差し込みプラグの抜き差しをしない。
スイッチなどの火花で引火し、爆発の危険。ガス漏れが発生したときは、すぐに次の処置を行うこと。
- 使用をやめ、容器（ボンベ）を本体から取りはずす。
- 窓や戸を開け、部屋の空気を入れ替える。

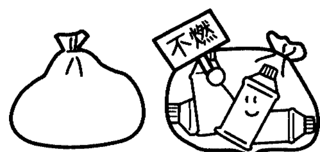
※ガスが漏れているときは、ブタンガス特有の玉ねぎの腐ったようなにおいがします。



⚠警告



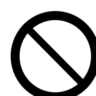
容器（ボンベ）は完全に使い終わってから他のごみと区分して捨てる。





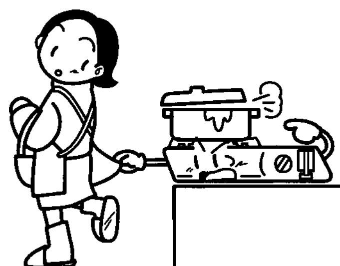
容器（ボンベ）を捨てる際にまだガスが残っている場合は、お湯を沸かすなどして使い切る。

※容器（ボンベ）を振ってサラサラ音がする場合は、まだガスが残っています。



火をつけたままで、外出したり、コンロの使用場所を離れたり、就寝したりしない。

火災など思わぬ事故の原因。
特に天ぷら、揚げものをしているときは危険。

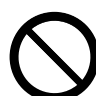




改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。

火災・けがの原因。

⚠注意



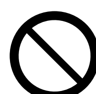
容器（ボンベ）は下のような表示のタイガーの専用容器を使用し、それ以外のものは使用しない。

ガス漏れなどの原因。



容器（ボンベ）は必ず２本をセットして使用する。

※容器（ボンベ）２本をセットしなければ、容器セットレバーを押し下げられません。



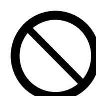
本体に強い力を加えない。

変形のおそれ。



取り扱いはていねいに。

強い衝撃などを与えると、ガス漏れなどの原因。



人体に使用しない。

容器（ボンベ）のガスを故意に吸い込むと、酸欠の原因。



強い風が吹き込むところで使用しない。

風で炎が吹き消されることがあり危険。



⚠注意



不安定なところや、傾いているところで使用しない。

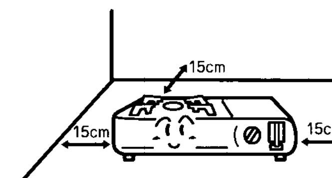
火災・やけど・故障の原因。





家具や壁など可燃物から15㎝以上離す。

壁などが熱せられて火災のおそれ。





火がついたまま持ち運ばない。

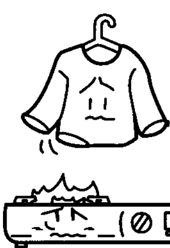
転倒すると、やけどや火災の原因。





衣類の乾燥やストーブのかわりに使用しない。

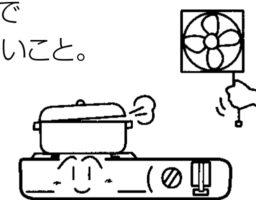
火災の原因。

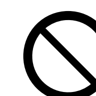




使用中は換気をする。

使用中は窓をあけるか換気扇をまわすなど、ときどき換気をして、しめきった部屋で長時間使用しないこと。

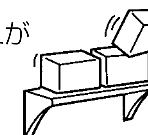




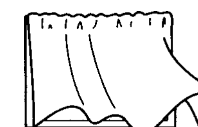
次のような場所での使用はしない。

火災の原因。

- ものが落ちるおそれがあるところ。



- カーテンなどが触れるところ。

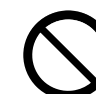


- 燃料容器や可燃物のそば。



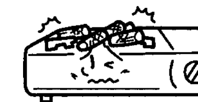
- 新聞紙など燃えやすいものの上や熱に弱いものの上。（たたみ・じゅうたん・ビニールクロス・熱に弱いテーブルなど）





調理以外の用途に使用しない。

過熱・異常動作などによる焼損、火災や爆発などの危険。





使用中および使用直後は、高温部に手をふれない。

バーナー、ごとく、しる受けなどが高温になっているため、やけどをするおそれ。





使用時の点火、使用後の消火を確認する。また、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。

2 お使いになる前に

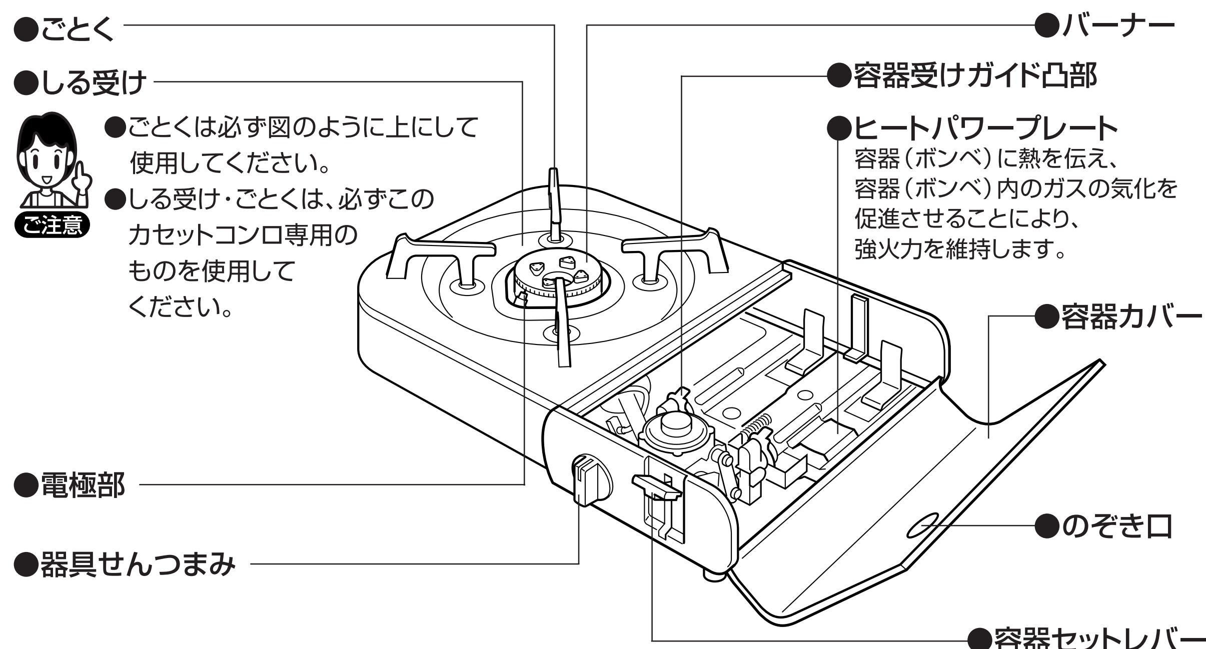
説明マークについて

本文中に記載されている説明マークは、下記の意味があります。



おいしく調理するためや、商品を末永くお使いいただくための
ご注意を記載しています。

各部のなまえとはたらき

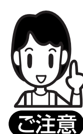


●ごとくは必ず図のように上にして使用してください。
●しる受け・ごとくは、必ずこのカセットコンロ専用のものを使用してください。

●ヒートパワープレート
容器（ボンベ）に熱を伝え、容器（ボンベ）内のガスの気化を促進させることにより、強火力を維持します。

容器（ボンベ）





●容器（ボンベ）に表示されている注意事項をよく読んでから使用してください。
●保管してある容器（ボンベ）はときどき点検し、さびが発生している場合はできるだけ早く使用してください。
●必ず２本の容器（ボンベ）をセットして使用してください。

異常時の処置のしかた

万一、異常燃焼を起こしたときや緊急の場合は、器具せんつまみを「消」にして消化し、容器セットレバーを「はずす」の位置に戻して、容器（ボンベ）を本体から取りはずしてください。

安全装置について

容器（ボンベ）内の温度が上がり圧力が異常に高くなると、圧力感知安全装置が働いてガスの供給をストップさせ、自動的に火が消えます。このような場合は、10ページの要領で処置してください。

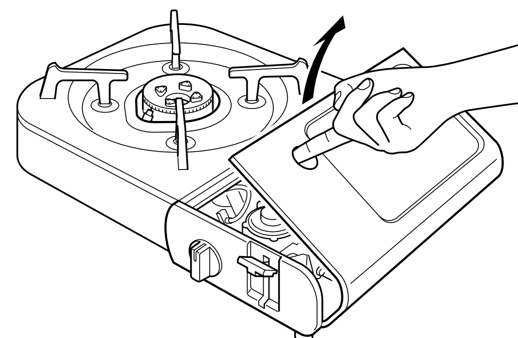
3 使いかた

1 容器（ボンベ）をセットする

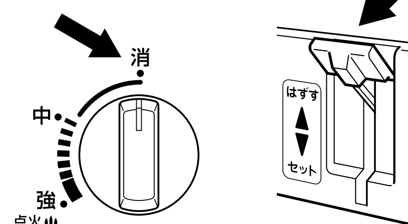


警告 容器（ボンベ）は、容器切込みを上にして正しくセットする。
ガスが漏れて、火災の原因。

①容器カバーを開ける。



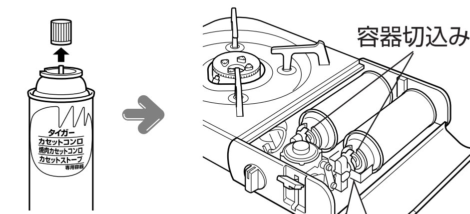
②器具せんつまみが「消」の位置に、容器セットレバーが「はずす」の位置になっていることを確認する。

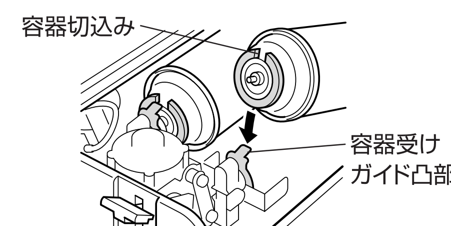




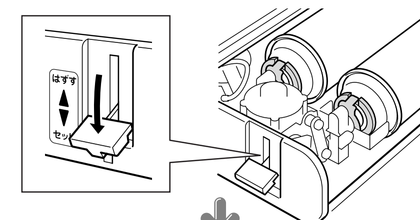
●器具せんつまみを「消」の位置にして、容器（ボンベ）を必ず2本セットしてください。そうしない場合、容器セット安全機構が働いて容器セットレバーが押し下げられません。また、無理に容器セットレバーを押し下げないでください。
●容器（ボンベ）を1本だけセットして使用しないでください。ガス漏れ・火災の原因になります。

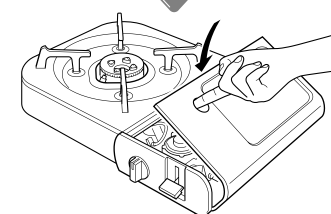
③容器（ボンベ）２本の容器キャップをはずし、下図のように、「容器切込み」をコンロの「容器受けガイド凸部」に合わせて入れる。





④容器セットレバーを「セット」の位置に最後まで確実に押し下げ、ガス漏れのないことを確認して、容器カバーを閉める。







容器セットレバーがスムーズに下がらない場合は、容器（ボンベ）が正しくセットされていません。ガス漏れの原因になりますので、再度セットしなおしてください。

2 点火する

器具せんつまみを「強」の方向に、「カチッ」と音がするまでゆっくりまわす。
※はじめてご使用になる際に、バーナーから煙が出ることがあります。

ご注意
点火していない状態で、器具せんつまみを「強」の位置にしておくと、ガス漏れを起こし危険です。必ず目で見て点火を確認してください。

点火を目で確認

3 火力を調節する

器具せんつまみをゆっくりまわして、調理にあった火加減に調節する。

- 器具せんつまみを「消」の方向にまわすと火力が弱くなり、「強」の方向にまわすと強くなります。
- 中火にするときは、器具せんつまみを「強」の位置からゆっくり「中」の位置までまわしてください。「カチッ」と音がして軽くとまります。

ご注意
炎を小さくしすぎると、風などで消えることがあります。ときどき、正常に燃焼していることを確認してください。

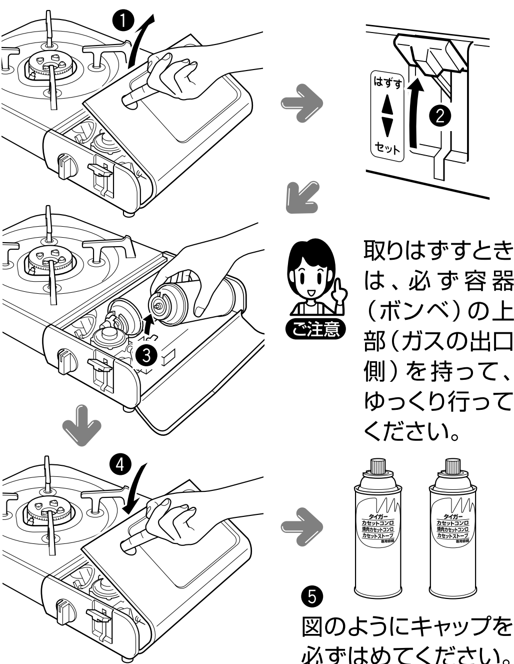
4 消火する

器具せんつまみを「消」の位置に戻し、火を消す。

ご注意
- 完全に火が消えたことを確認してください。
- 器具せんつまみは、確実に「消」の位置まで戻してください。火が消えても、完全に戻っていないとガス漏れします。

5 容器(ボンベ)を取りはずす

容器カバーを開け、容器セットレバーを「はずす」の位置まで戻し、容器(ボンベ)を2本とも取りはずす。
※容器セットレバーを戻すとき、レバーが少しかたい場合がありますが、異常ではありません。

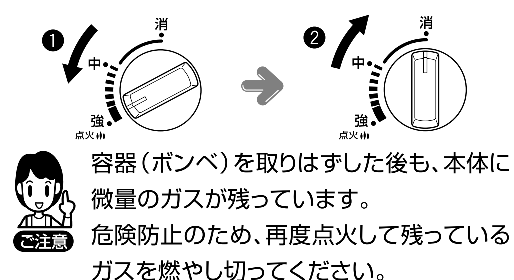


ご注意
取りはずすときは、必ず容器(ボンベ)の上部(ガスの出口側)を持って、ゆっくり行ってください。

図のようにキャップを必ずはめてください。

6 コンロに残ったガスを燃やし切る

再度、容器(ボンベ)が入っていない状態で点火し、残っているガスを燃やし切った後、器具せんつまみを「消」の位置まで戻す。



ご注意
容器(ボンベ)を取りはずした後も、本体に微量のガスが残っています。
危険防止のため、再度点火して残っているガスを燃やし切ってください。

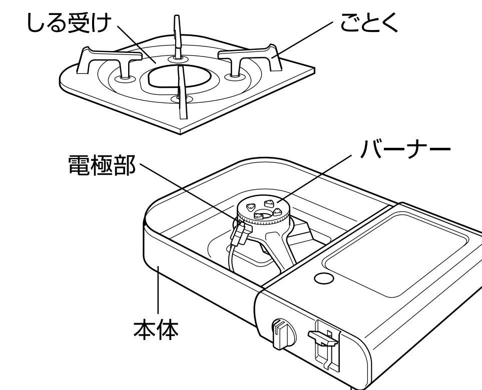
4 お手入れのしかた



容器(ボンベ)をはずし、本体が冷えてからお手入れする。

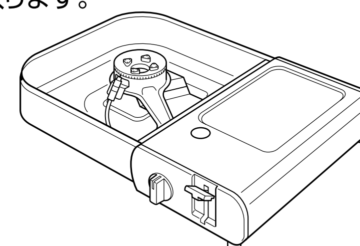


- 台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)以外(シンナー・クレンザー・化学ぞうきん・漂白剤・金属たわしなど)は使わないでください。
- 本体の丸洗いは絶対にしないでください。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などの使用はしないでください。変形するおそれがあります。



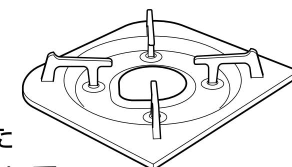
本体のお手入れ

洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふいた後、乾いた布で洗剤分を充分にふき取ります。



しる受け・ごとくのお手入れ

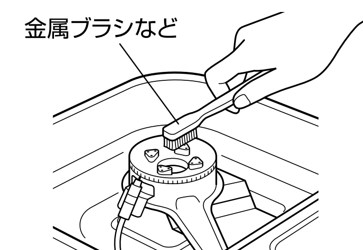
①しる受けを上に持ち上げて取りはずします。
②洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジで洗った後に水洗し、乾いた布で充分に水分をふき取り乾燥させます。
③元通りにセットします。



ご注意
油や煮汁で汚れたままにしておかないでください。腐食の原因になります。

バーナー(及びその周辺)のお手入れ

バーナーが穴づまりをおこすと、不完全燃焼をおこし危険です。穴がつまって炎がふぞろいになったときや汚れがひどいときは、金属ブラシや千枚通しなどで掃除してください。電極部の汚れは、点火不良の原因になります。乾いた布でふき取ってください。(このとき、電極部の位置を動かさないようにしてください。)



仕様

点火方式	外形寸法(約cm)			質量(約kg)	安全装置	ガス消費量(約g/h)
	幅	奥行	高さ			
圧電点火式	44.7	32.7	13.7	2.9	ガス通路しゃ断方式	330

容器(ボンベ)

品名	品番	容量	主原料	使用時間
カセットコンロ・焼肉カセットコンロ・カセットストーブ専用容器[容器(ボンベ)3本入りパック]	CKA-2500	250g×3	ブタンガス	約2時間(ボンベ2本使用時)

※容器(ボンベ)は消耗品です。ガスがなくなった場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口で、品名・品番をご指定の上、お買い求めください。



社)日本ガス石油機器工業会登録品

安全装置が作動した場合

下記のような誤った使いかたをして、容器（ボンベ）内の温度が上がり圧力が異常に高くなると、圧力感知安全装置が働いてガスの供給をストップさせ、自動的に火が消えます。
このような場合は、以下の処置方法（再セットのしかた）と、この取扱説明書を再度よく読み、正しく安全にご使用してください。（P6参照）

- 容器カバーの上に鉄板などがかぶさっている。
- 直射日光の強い場所や、夏の砂浜などで使用した。
- 夏の日中、車のトランクの中などで、長時間保管していた。

容器カバー

処置方法（再セットのしかた）

1 器具せんつまみを「消」の位置に戻した後、容器セットレバーを「はずす」の位置に戻す。

2 容器（ボンベ）の温度が充分に下がってから、または冷暗所で保管されていた別の容器（ボンベ）を再セットする。（P7・8参照）

3 容器セットレバーを「セット」の位置まで下げ、再度「はずす」の位置に戻す。
（安全装置が復帰します。）

4 7・8ページ「3使いかた」の要領で、再度点火する。

※最初から容器(ボンベ) 内の温度があがっていてセットしてもガスが出ない場合があります。
これは安全装置が作動するためで、故障ではありません。

長期間使用しないとき

長期間使用しないときは、以下の要領で、本体・容器（ボンベ）を保管してください。

本体・容器（ボンベ）の保管方法（長期間使用しないとき）

1 容器（ボンベ）を本体から取りはずし、コンロに残ったガスを燃やし切る。

2 しる受け・ごとく・本体が汚れていないか、よく乾いているかを確認する。

3 本体の各部が充分に冷えてから箱に入れ、湿気の少ないところに保管する。

4 容器（ボンベ）は、必ず容器キャップをつけ、風通しのよい湿気の少ない40℃以下の場所に保管する。
※長期間容器（ボンベ）を保管していると、サビが発生することがあります。ときどき点検して、サビが発生している場合には、できるだけ早く使用してください。

40℃

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠警告 修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

こんなとき ／ ここを確認して	容器（ボンベ）がセットできない	器具せんつまみを「強」の状態にしてもガスが出ない	器具せんつまみを「消」の状態にしてもガスのにおいがする	炎が小さい ※	バーナーに火移りしない	着火しにくい	使用中に火が消えた	こう処置してください	参照ページ
器具せんつまみが「消」の位置になっていない。	●							器具せんつまみを「消」位置にしてセットしなおしてください。	7
容器（ボンベ）が1本しかセットされていない。	●							容器（ボンベ）は必ず2本セットしてください。	7
圧力感知安全装置が作動した。		●				●	●	安全装置が作動するためで、故障ではありません。容器（ボンベ）を再セットしてください。	6·10
専用容器（ボンベ）以外を使用している。	●	●	●	●		●		タイガーの専用容器（ボンベ）を使用してください。	4
容器（ボンベ）が正しくセットされていない。	●	●	●			●		正しくセットしなおしてください。	7
バーナーが目づまりしている。				●	●	●		金属ブラシなどで目づまりを取りのぞいてください。	9
電極部が汚れている。						●		汚れを取りのぞいてください。	9
電極部の火花が出にくい。						●		お買い上げの販売店にご相談ください。	
ガスが少ない（なくなっている）。		●		●	●	●	●	新しい容器（ボンベ）に取り替えてください。	

※室温や容器（ボンベ）の温度が低い場合には、炎が小さくなることがありますが、器具の異常ではありません。
※使用中どちらかの容器（ボンベ）のガスがなくなると、炎が急に小さくなる場合があります。
そのときには、ガスがなくなった方の容器（ボンベ）を交換してください。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社 本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は お客様ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 市内通話料でOK **0570-011101** 市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます）※携帯電話・PHSの方はこちらへ TEL（06）6906-2121

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス http://www.tiger.jp/